

## 森のニュース

平成26年度  
森林・林業施策と予算

### 1 「かながわグランドデザイン」における 木材生産量の取組状況

「かながわグランドデザイン」（平成24年3月策定）

～プロジェクト26「神奈川の特徴を生かした農林水産業の展開」～

#### ② 県産木材の有効活用の促進

- ⇒ 木材を活用しながら森林の持つ様々な働きを維持していくため、林業を再生し、間伐材など県産木材の生産を促進します。
- ⇒ 活力ある森林づくりにつなげていくため、県産木材の新たな流通システムの構築や品質と性能の確かな県産木材製品の生産と消費拡大を推進します。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 県産木材の生産の促進	県 民間	生産拡大の支援		
② 新たな流通のしくみづくり等による県産木材（素材・製品）の安定供給	県 民間	検討・調査、整備、運営、支援		

#### ○ 県産木材生産量（スギ・ヒノキ）の増加目標

区分	H23(2013)年 〈現状値〉	H24(2012)年	H25(2013)年	H26(2014)年
目標	19,634 m <sup>3</sup>	23,500 m <sup>3</sup>	26,500 m <sup>3</sup>	30,000 m <sup>3</sup>
（実施状況）	実績数	19,230 m <sup>3</sup>	17,135 m <sup>3</sup>	—
	達成率	—	82%	65%

- 木材生産量（スギ・ヒノキ）は、H24年度は19,230 m<sup>3</sup>、82%であり、H25年度は今冬の大雪の影響を受け、私有林からの間伐材搬出量が大きく減少し、17,135 m<sup>3</sup>で、年度目標に対して65%でした。H26年度は、いよいよ目標30,000 m<sup>3</sup>の年であり、県として、引き続き下記2にあるような木材生産量増加に向けた取組みを実施します。

### 2 神奈川の林業再生の取組と平成26年度予算

上記の木材生産量増加に向けた取組として、平成26年度予算では、森林資源の循環による持続的な人工林の再生を目指し、林業再生総合対策事業を位置づけています。

主な内容としては、地域の行政や林業関係者の連携協力の下、施業集約化・施業の効率化・人材育成等を進め、林業の体質強化を図ります。また、加工流通体制の整備や公共木造施設等への支援など、川上から川下までの総合的な対策に引き続き取り組めます。また、安倍政権下において進められている国の「好循環実現のための経済対策」に対応して、「森林整備加速化・林業再生基金」への積み増しを行いました。

平成26年度の森林・林業関係当初予算としては、一般会計約51億2千2百万円（対前年比96%）、特別会計約21億3百万円（対前年比108%）となっています。

（環境農政局水・緑部森林再生課調整グループ）



森のニューズ

平成26年度

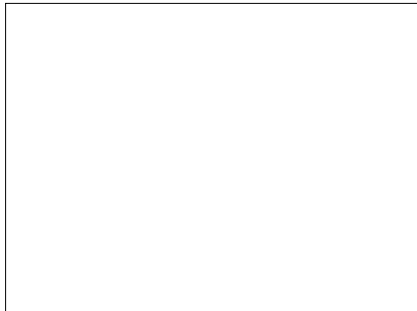
治山・林道関係施策と予算

はじめに

□□4 □□□□□□ □□  
□□□□□□□ □□4 □□□□  
□□ □□□4 □□□□□□□□□  
□□□□2 □□□□□□□□□□  
□□□□ □□□□□□

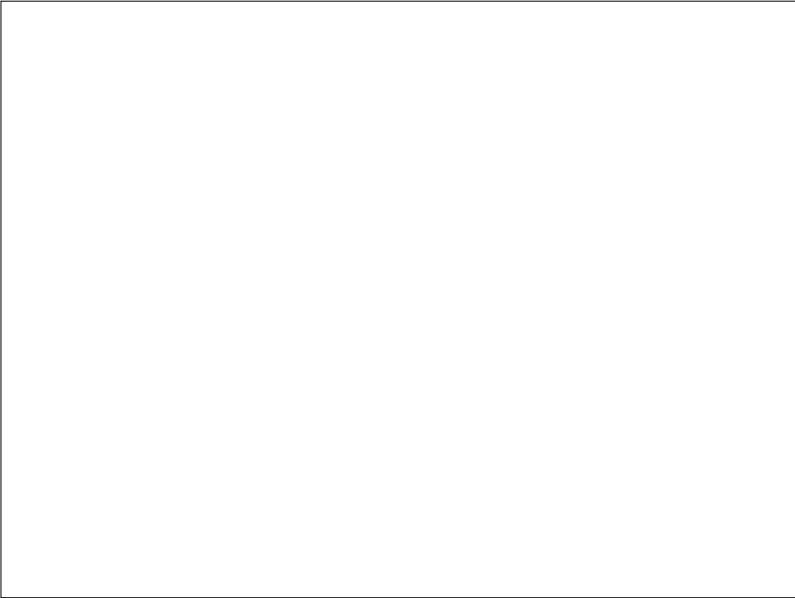
治山・林道施策について

□4 □□□□□ 6 □□□□□  
□□□□ 3 □□□□□□□  
□□□□□□□□□□4 □3 8□  
□□□□□2 □□ □ □□□  
□□□□□ □□□□□□□□□□  
□□□□□□ □□□□□□□□  
□□□ □4 □□□□□ □  
□□8□□□□



□□ 5 □ 6 0 □□

□□□□□4 □□□□□□□□□  
□□□□4 □□□□□□□□□6□□  
□□□□□4 □ 6 3 □□□□□  
□□□□□□□8□4 □□□□□□  
□□ □ □□□□□□□□□□□  
□□□□□□□□□□3 □□ □□  
□□8□□□□□□□□□ □□8□  
□□□  
□□□□□□□□□2 2 □□ □□  
□□□□□6 □□□ □□□4 □  
□□□□□5□□□□□□□□□□□  
□□□□□□□□□□□ □□□□  
□□□□□□□□□□□□□□□□□



4 □□ □□□□□

□□□□ □□□□□ □□□  
□ □□□4 □□□□□□□  
□4 □□□□6 □□7 □□□□  
□□ □□□□□□□ □□  
□□□□□□□4 □□□□□□  
1 7 □□□□□□□□ □□□  
2 5 □1 7 □□□□□4 □□□  
□□□□  
6 □□□□□□□□□□□□□□□  
□□□□□□□□□□□ □□□□  
□□□□□□□□□□□3 □□□□  
□□0 0 □□□□□0 1 □□4 □  
□□8 □□□ □□ □□□□□□  
□□□ □□8□□□□

平成26年度治山・林道事業予算について

4 □□ □2□□ □□□□□  
□□□□□□□82□ □□□6□  
□□□□□□□□ 4 □□□  
□□0 4 □□□6□ 8 □□8□  
□□□□□□ 0 □□□□□  
□□□□  
□□□□□□□□□□□ □5  
□□□□5 4 □□□□□□8 □□  
□8□□□□□□□□□8 □□□□  
□4 3 □ 0 1 □ □□□  
□8□□□□  
□□□4 □ □□□ 8 □□8□

□□□□□□□ 1 □2 5  
□6 □ □□□□8□□□□  
□□□□□□□, □□□□□□□  
□ □47 □□□□ □ 8□□□  
□ □□5 □□□ □□8 □□□  
□ □□□□□□□□□□ □  
□□□□□□□8□□□□  
□□□□□□6 □□□□□□□□  
□□□□ □ □□ 9 □  
□□□□□□□□□□□□□, □□□  
□□□□□□□□□□□□□□□□  
□□  
□□0 4 □□□□□□□□□ □  
□8□□□□ □□□5 5 □1  
□ □4 □□□□ 3 □6  
□ □□□□□□□4 □□□□  
□□ □□□□□□□□  
□□□□0 □□□□□6 □□7  
□□□□□□□□□□□ □□□  
□□ □□□ □□□2 □□ □  
□ □□□□□ □□6 □□□  
8□□□□  
□□□ □□□□□□□□  
□7 □□8□□□□□0 0 □□  
□□□8 7 □□□□□, □□□□□□  
□ □□□□□□4□□□□ □□  
□□ □□□ □7 □ 5 □  
□□□□6 □□□□□□□□□□  
□□□□□□□□□□□□□□□, □

森林の早期復旧を図ってまいります。

林道事業は、林業経営の効率化と森林の適正な管理を推進するための基盤施設として新規開設を行う林道開設事業、既設の林道の車両通行の安全性向上、木材生産の効率性向上を推進するために実施する林道改良事業等があります。



立石川治山工事

平成26年度林道事業の予算については、公共事業が4億3千万円、県単事業が3億2千万円となっており、開設3路線、改良30路線の整備を実施する計画です。

林道開設事業は、南足柄市矢倉沢の桧山線、山北町皆瀬川の八丁



三廻部林道作業ヤード

神縄線、箱根町宮城野の宮城野線において、新設に取り組んでまいります。このうち、八丁神縄線については、平成26年度で事業が完了する予定です。

林道改良事業は、山北町玄倉の秦野峠線で作業ヤードの整備を行うほか、相模原市緑区青根の神の川線、秦野市横野の表丹沢線、真鶴町岩の白銀線等において、法面保護等の改良工事を行います。

## 2月の大雪被害

本年2月、関東甲信地域では、2度にわたる記録的な大雪に見舞われました。大半の林道が通行不能となり、除雪等の対応が必要になりました。施設の破損が発生している林道もあり、順次、復旧を図ってまいります。

## H25鷹ノ巣山林道作業ヤード



(環境農政局 水・緑部  
森林再生課  
基盤整備グループ)



## おわりに

国では、国土強靱化や安定的な木材の供給体制の構築を図るための取組を推進しており、本県においても地域の実情に応じた施策を進めているところです。

森林を保全する治山事業、生産された木材を運搬するための道づくりである林道事業は、これら施策を推進するための基盤として欠かせないものです。

近年の国・県の厳しい財政状況により、治山・林道事業予算は縮小傾向で推移していますが、限られた予算の中で、緊急度、優先度を勘案し、十分に効果が発揮されるよう、適切に事業を実施してまいります。

今後とも会員の皆様には、治山・林道事業の着実な推進に御支援賜りますようお願い申し上げます。